

# 校内研究会 6月12日

## 第一部 ワークショップ：福田純子校長

### 1 基本となる学習指導案の書き方

#### (1) 主題名

資料名・・・題名（出版社名等出典を明らかにする）

#### (2) 主題設定の理由

- ・ねらいとする価値について  
内容項目の指導の観点に照らし、価値についての解釈やこの授業での重点等を述べる。
- ・児童の実態について  
子供たちは優しい・・・という記述ではなく、「ねらいとする価値」や本時の学習活動に関する学級の児童の実態や、これまでの指導の経過、目指す子供の姿等を記述する。
- ・資料について  
資料の内容や解釈だけでなく、資料のどこがねらいとする価値に迫るのに適しているのか、資料をどう活用してねらいに迫るか、等を記述する。

#### (3) ねらいとする価値に迫るために

- ・研究主題との関連
- ・ねらいとする価値に迫る手立て

#### (4) 本時の学習

- ・ねらい・・・本時における資料に即したねらいを簡潔に記述する。～を養う、～を育てる、～を高める等語尾に注意する。
- ・展開  
導入：ねらいとする価値への導入・資料への導入・雰囲気作りなどの種類。  
展開前段：資料を共通の土俵とする。基本発問は2～4でその内のひとつが中心発問。  
中心発問が決まったら、前や後ろの発問を考え、振り返りでねらいとする価値について深めるか広げるのかを考える。資料提示の方法と導入・終末を決める。  
展開後段：ねらいとする価値の自覚化を図る。前段からの子供の思考の流れを切らない。  
終末：ねらいとする価値を深く心に刻ませる。学習を振り返り、学習をまとめ、場合によっては補完し、学習意欲が自然に湧いてくるように促す。

#### ・評価

中心発問に対する児童の反応から見取る。  
主に展開後段の児童の反応から見取る。

#### (5) 板書計画

#### (6) ワークシート

#### (7) その他

#### (8) 資料

- ・出典を明記、著作権に配慮。増刷したものは、原則回収する。

### 2 道徳学習指導案をどう書くのか。ひな型の共通理解のために、今日は（2）展開の部分をも自分の考えで書いてみる。

参照として解説書2－（3）・・・低学年 p 4 3 中学年 p 5 0 高学年 p 5 6

個人作業 → グループ内で話し合い → 交流



（高）赤鬼の気持ちから迫る方法は中学年が適しているかな。青鬼の気持ちから迫るのは6年生あたり適しているかな。

（中）赤鬼を中心に考えていく。赤鬼が青鬼の手紙を読んだ時に何故しくしく泣いたのか、夢が叶ったのに何が大事と思ったのか。本当の友達とは・・・等考えさせたい。

（低）赤鬼の気持ち（青鬼を殴ったとき、手紙を読んだとき）はどうして悲しいのかを友情・仲間の言葉を考えながら子供たちの気持ちを引き出したい。後段で「友達のために何かをしたいと思ったことはありますか。」を中心発問とする。

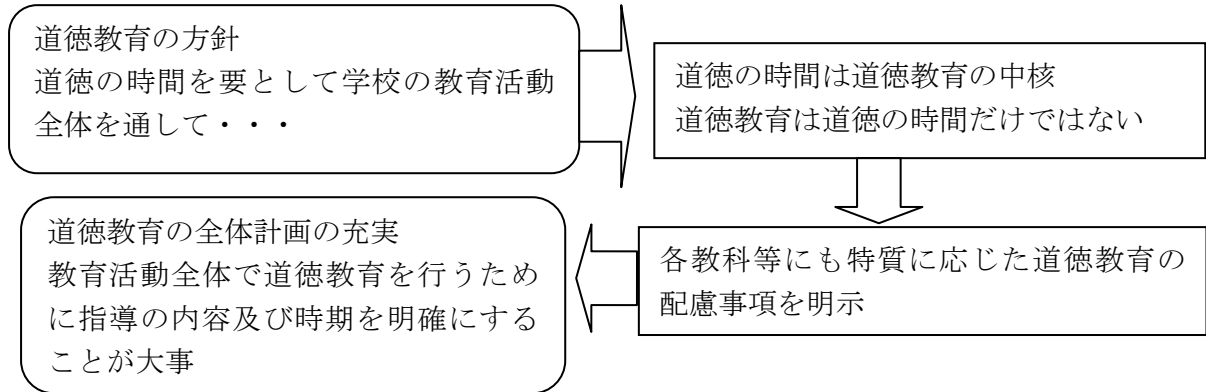
## 第二部 講演：赤堀博行先生

### 1 道徳教科化はなぜか

道徳を新たな枠組みによって教科化し、人間性に深く迫る教育を行う。

現状では学校により、先生により教え方や扱い方が違う。←義務教育の中でこれでいいのか。社会総がかりで“いじめ問題”への対応を迫られている。

### 2 道徳の時間の基礎・基本



・学校としてどんな子供を育成したいのか、子供の実態と課題を明確にして道徳教育を共通理解、共通実践することが求められている。

### 3 教育活動全体を通じて行う道徳教育の進め方

- ①各学校の具体的な道徳教育の重点目標を設定する。
- ②道徳教育の重点目標のポイントを明確にする。
- ③道徳教育の重点目標のポイントにかかわる道徳の内容を明確にする。
- ④当該の道徳の内容にかかわる道徳の時間以外の指導を明確にする。
- ⑤道徳の時間以外の指導の内容及び時期を明確にする。

### 4 学校教育と道徳の時間

- ・教科でできることとできないことがある。
- ・教科の特質を生かして行う道徳教育
- ・道徳の時間以外での指導では、一年間かけて子供の心を育てる。効果があったことをメモし、指導計画にはっていくと年間計画が生きた計画となる。
- ・日頃の道徳教育と道徳の時間の指導が合わさって道徳性が養われる。

### 5 道徳教育と道徳の時間との関連

- ・道徳の時間は、特定の教育活動の充実を目指して行うものではない。
- ・計画的、発展的指導によって、目標を補充、深化、統合していく。突発的・偶発的はダメ。
- ・学校行事や創意ある教育活動など、特定の教育活動のためであってはならない。

### 6 道徳的価値の自覚を深める

#### ①道徳的価値について理解する。

道徳的価値は大切であること 道徳的価値は大切ではあるが実現は難しいこと  
道徳的価値の実現に向けては多様な感じ方・考え方があること

#### ②自分とのかかわりで道徳的価値をとらえる。

道徳的価値についての理解（価値理解、人間理解、他者理解）を自分とのかかわりで行う。  
自分とのかかわりで道徳的価値を理解することで、あわせて自己理解が深まる。

#### ③道徳的価値を自分なりに発展させていくことへの思いや課題を培う。

道徳的価値にかかわる課題を培うために、現在の自分自身を知る。

### 7 道徳的実践力を育成する

道徳的実践力とは人間としてよりよく生きていく力であり、一人一人の児童が道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深め、将来出会うであろう様々な場面、状況においても、道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践することができるような内面的資質を意味している。それは、主として、道徳的心情、道徳的判断力、道徳的実践意欲と態度を包括するものである。

